

12月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和3年12月末現在〕

令和4年1月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで改善した。

業種別では、製造業の「景況」、「売上高」、「収益状況」全てで改善した。非製造業は「売上高」は悪化した、「景況」、「収益状況」は改善した。

しかし、資材や原料の高騰や資材の供給の遅れがみられ、また、幅広い業界で新型コロナウイルスのオミクロン株による感染再拡大が懸念事項となっている。

景況DI

製造業は、前月比23.1ポイント改善の▲11.5ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の▲16.7ポイント、全体では、前月比16.0ポイント改善の▲14.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比23.1ポイント改善の0.0ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント悪化の▲8.3ポイント、全体では、前月比10.0ポイント改善の▲4.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比15.4ポイント改善の▲23.1ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の▲25.0ポイント、全体では、前月比12.0ポイント改善の▲24.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点) | |
|-------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 食料品製造業 | 学校給食パン | 学校の冬休みは県内自治体で対応が分かれた。12月28日まで給食を実施する自治体もあれば、23日で給食が終了する自治体もあった。28日まで給食を実施する自治体は、9月のコロナ禍で休校した代替策として実施している。このように何らかの形で対策を講じて頂けるのは、大変ありがたい。 | |
| | 清酒 | ○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県11月の清酒課税移出数量は、前年同月比97.1%であった。本格焼酎については、前年同月比106.8%と好調であった。清酒に関しては燗酒で飲まれる普通酒は依然不振であったが、高級酒の純米酒・吟醸酒が好調であった。しかし、緊急事態宣言解除後の一過性と考えられ、復調したとは言い難い。売上増加期の12月は、大規模な忘年会が取り止めとなったり、飲み会の自粛ムードが続いており売上に懸念を感じている。清酒の輸出については、地域や企業間で温度差があるもののコロナ禍で国内マーケットが不安定の中、輸出に力を入れて、令和3年10月の前年同月比輸出数量(全国ベース)は、117.6%と好調であった。新型コロナウイルスの感染が落ち着いている、香港・中国が好調で、香港・中国・米国で輸出の60%以上を売り上げている。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスワクチンの接種も進んでおり、緊急事態宣言も解除され、外飲みも増加しつつあるが、新たな変異株のオミクロン株の感染拡大により再び飲食飲酒の自粛となることを懸念している。 | |
| | 納豆 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が少し落ち着いたように感じられ、人出も多くなり、観光土産用の納豆の売上も回復してきている。一般消費者向け納豆は前年同月並みの売上である。資材・物流費等の値上げが不安であり、オミクロン株の影響がどこまであるのか懸念される。 | |
| | 菓子 | 新型コロナウイルスのデルタ株の感染状況が落ち着き始めたかと思っただが、オミクロン株の感染拡大のショックが大きい。組合の新年会を計画したが、年始に中止を決定し、残念であった。 | |
| 繊維工業 | 袋物 | 少し仕事量が増えてきたが、引き続き新型コロナウイルスのオミクロン株の影響が心配される。今後の仕事量の増加に期待したい。 | |
| 製 造 業 | 製材 | ・構造材(土台・柱等)の荷動きは比較的好調に推移した。 ・原木は、依然全体的に高値が続いている。 ・プレカット工場の稼働状況は、比較的好調に推移した。 ・輸入材の構造材と羽柄材の荷動きは順調に推移した。 | |
| | 木材・木材製品 | 県北地区プレカット | 12月は急に見積物件が決まり始め、多忙な月となり、加工坪数は目標の90%であった。木材の納期が以前より短くなったが、合板の不足が顕著になりつつある。 |
| | 県央地区プレカット | 当月は大型物件の加工が2件あり、工場生産は忙しい状況であった。しかし、11月12月と新規の見積物件は減少しており、気になるところである。加工予定の物件が加工の延期になったものもあり、全体的な建築資材等の品不足の影響も考えられる。 | |
| 紙・紙加工品 | 段ボール | 12月は新型コロナウイルスの感染者も少なく、人々が町や観光地に出かけて経済が回り始めたように感じられ、売上等の実績もコロナ禍前に戻りつつある。このまま経済がコロナ禍前までに戻ることに期待したいが、人々が外に出かけた事により、新型コロナウイルスの感染者の増加が懸念される。 | |
| 印刷 | 総合印刷 | 売上高等は前年同月比で不変であり、コロナ禍にあった前年同月と同じく低水準の不変である。このような状況下において、紙インキ等の原材料の値上がりにより更に収益を圧迫している。販売価格に転嫁できない業界の悩みは大きい。 | |
| 窯業・土石製品 | コンクリート製品 | 共同販売の売り上げについて、従来は9月以降に伸びを見せるが、11月末時点では過去5年間(2016年~2020年)で一番売り上げの低かった2019年を僅かに上回る程度の実績となった。2020年度は過去5年間で一番の売り上げを記録したことから、新型コロナウイルスの影響はほとんどないと考えられる。今後売り上げの状況を注視していく必要がある。 | |
| | 陶磁器 | 新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたと思っただが、年末ごろから大都市を中心に感染者が広がりを見せているのが懸念される。新しい変異株は未知の部分があるので感染対策が過剰にならざるを得ないが、通常の生活に戻る事を望む。 | |
| 鉄鋼・金属 | 鉄鋼 | 当月は受注量・売上高とも前年同月並みであった。しかし、前年と同様に、本年9月以降売上は回復している。前月に引き続き、自動車部品関係と建築資材関係・機械部品等の売上が増加している。業界全般の景況は、緩やかに回復している。しかし、新年はまだ予断を許さない状況である。金属材料は価格の上下変動は激しいが、全ての金属が高値のまま推移している。また、工業薬品の価格は変わらないが、値上げの話が少しずつ出てきている。ガソリンを含む石油関連は全て高値のままである。 | |
| 一般機器 | 生産用機械 | 対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比ですべて増加となった。全体増減率は前年同月比129%であった。主要取引先からの受注増加傾向が続き、当月も直近5年間で最大の売上高を確保。全組合員数は横ばいであるが、業績は堅調に推移している。 | |
| 輸送用機器 | 県北地区自動車部品 | 半導体の不足が生産活動に影響を及ぼしている。潜在的な需要はあるので、半導体不足が解消すれば生産高は上昇傾向に転ずるものと予想される。 | |

情報連絡一覧票

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点) |
|----------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 卸売業 | 水産卸 | 精算所取扱高は、前年同月比1.76%増加。年末商材を含め全ての商材が高値で推移した影響で、取扱高は多少増額したものの、取扱物量は減少した。新型コロナウイルスの影響で忘年会・新年会等の中止が相次いで仲卸業者・一般買受人等は厳しい状況が続いている。12月28日～30日市場で年末感謝祭を開催、仲卸業者・関連店舗に一般の買い物客が来場し、多少ではあるが賑わいを見せた。 |
| | セメント卸 | 袋セメントの出荷袋数は前年同月比13%の減少である。工法の変化に加えて、工事の減少から袋セメントの需要減退が続いている。 |
| 小売業 | 県北地区共同店舗 | 売上は前年同月比103%、客数は同106%であった。プレミアム付き商品券の使用期限終了に伴う駆け込み需要があったため、このような結果となった。 |
| | 県央地区共同店舗 | 館全体の既存店と新店の売上(客数)は前年同月比100%(96%)となり、前年同月並みとなった。クリスマスから年末商戦期間もほぼ前年同月並の結果となった。主要部門では前年同月比で食品98%(96%)、飲食103%(103%)、ファッション120%(107%)となった。寒さも厳しくなり、ファッション店舗の売上が前年よりも好調で、2019年同月比でも117%となった。食品店舗では精肉店が、輸入牛肉・鶏肉の在庫減と価格高騰の影響を受け、前年に比べると売上、客数共に大幅に落としている。1/7(金)より飲食店2店舗がオープンした。 |
| | 県南地区共同店舗 | 前年よりは、イベント、催事等の開催も出来るようになり客数も伸びてきたが、売上はまだまだ回復してない。衣料品、飲食が厳しく、特にフィットネス、リラクゼーション等のサービス部門はまったく回復してない。クリスマス、年末需要は大手に流れているせいか、当ショッピングセンターに関しては盛り上がりはなかった。売上は前年同月比で、全体96.9%、衣料88.2%、文化品190.4%、食料品94.5%、飲食97.4%、サービス91.1%であった。前々年同月比では、全体93.1%、衣料76.1%、文化品137.8%、食料品82.9%、飲食98.0%、サービス89.0%であった。 |
| | 家電 | 2021年は前年同様にコロナ禍の中での営業活動だった。三密を避け、組合活動や催事等は控え目なものとなった。12月は主力商品等が品切れが多く、売上は減少、収益等も前年同月比で減少している。業界としてはお客様に喜ばれる商品(4Kテレビ、家庭用蓄電池等)に恵まれているので、コロナ禍の中で安全を確保し、家の中での時間を充実させる提案をすることで、地域貢献をより推進してまいりたい。 |
| | 燃料小売 | 前年12月は外出自粛が求められていたが、今年12月は新型コロナウイルスのオミクロン株に不安があるものの、感染者の減少や天候に恵まれたこともあり、ガソリンの販売量は増加した。しかし、現在も原油価格は高値で推移しているため、資金繰りには注意が必要となる。 |
| | 中古自動車 | 販売価格は前年同月比で111.4%と大幅に上昇したが、販売台数が同85.7%と落ち込んだため、売上高は同95.5%と前年度を下回った。また、流通車不足による仕入価格の高騰が販売価格の上昇を招いており、価格上昇が販売利益に繋がっていないのが現状である。 |
| | 食料品 | 食品流通業により、組合員はコロナ禍において食のライフラインを担っている。12月はクリスマス需要・年末需要で売上の改善を見込んでいたが、消費者の購買行動が予想よりも鈍く、生鮮食料品・年末商品を中心に売上・客数は前年同月割れで推移した。前年同月と比較して里帰りが多く見込まれていたが、不調に終わった。年々、年末のおせちの販売が難しくなっている。今後も新型コロナウイルスの感染対策も万全にすることで、安心・安全な店にして、近くの便利なお店にし、消費者の食のライフラインを担っていく努力を行っていく。 |
| | 野菜・果実 | 12月の取扱高は野菜果実合計で前年同月比95.5%となった。玉ねぎやじゃがいも等を除く多くの品目が生育順調。市場内では白菜等の売れ残りが目立った。また、年々お歳暮やギフトの需要が低迷しており、その影響からかミカン等の果物も荷動きが鈍かった。 |
| 商店街 | 筑西 | 新型コロナウイルスの影響が続いているため、忘年会等が無い。宴会部門の売上がコロナ禍前の2019年12月の10%程度となっている。 |
| サービス業 | 自動車整備 | 組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が91.98%、軽自動車が102.17%(全体で95.82%)であった。前年同月比で普通車においては減少が見られたが、軽自動車が例年並みとなり、全体ではやや減少となった。しかし、普通車の継続検査台数が下期は前年同月比で減少傾向にあり、収益の悪化傾向が見え始めたかに思われる。 |
| | ホテル・旅館 | 宿泊・宴会ともに売上は微増傾向である。「いば旅あんしん割」の影響が大きく、冬ならではのイベントは集客への貢献度が高いようである。各県内エリアともに、旅行者のうちの「いば旅あんしん割」の利用は6~7割を占めており、経営回復の最大要因になっている。しかしながら、新型コロナウイルスの感染者の増加やオミクロン株の影響により、業界の景況は非常に不安定で不確かなものとなっている。 |
| 建設業 | 総合 | 年末を迎え工事進捗状況は順調である。余裕ある工期での発注が進んでいることから以前から地域の方からの交通渋滞に対するクレームが少なくなった。また各企業の安全対策に対する準備も充実したため年末年始の現場安全状況も良くなった。 |
| | 電気工事 | 照明、設備、センサー等入ってこない材料が多くあり、業務に支障が出てきている。 |
| | 型枠工事 | 今月の景況は前年と変化がない。土木や建築の大型物件が発注され、さらに新年度の物件も順調に依頼されている。ただし、ウッドショックによる木材の高騰と品不足が深刻である。 |

報告者名
報告年月

| |
|--------------|
| 茨城県中小企業団体中央会 |
| 令和3年12月 |

情報連絡一覧票

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点) |
|----------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 非製造業 | 運輸業 | <p>一軽貨物運送</p> <p>当月の組合員数は118名、車輛台数は150台で前月と比較して2名の増加、2台の増加となった。また、運送売上高については、前年同月比158.2%と増加であった。全国連合会での当月の組合員数は7,215名、車輛台数8,556台で前月と比較して26名減少、37台減少であった。</p> <p>県北地区一般貨物</p> <p>主要顧客の動向の影響で、出荷物量は年末も横ばいであった。燃料価格は僅かに下がったが、依然高値で推移している。また、ディーゼル車等の排出ガスを浄化するのに必要なアドブルー（尿素水）も価格が上昇しており、収益も益々厳しい状況が続いている。</p> |

行政庁・中央会に対する要望事項

| 集計上の分類業種 | 具体的な業種 | 行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等 |
|----------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 食料品 | 学校給食パン | 学校給食におけるパン給食回数の増加 |
| | 清酒 | 新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が予測され、今後第6波の襲来が懸念される。再度緊急事態宣言が発令されることがあれば、酒の供給側への行政からの追加の月次支援金等の財務支援の速やかな対応をお願いしたい。 また、ワクチンにより重症者が増えない状況であれば飲食店での酒の提供の禁止ではなく、酒類の提供に関する新たなルールの策定をお願いしたい。 |
| | 納豆 | 補助金等の中小企業に対する支援強化をお願いしたい。 |
| | 菓子 | 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種実施と治療薬の提供をとにかく早くして欲しい。 |
| 小売業 | 県央地区共同店舗 | 店舗の退店により収入が減少している。 協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金、またイベントで活用できる補助金などの情報を教えて欲しい。 |
| | 燃料小売 | 揮発油税に課税している二重課税の廃止。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策中での経済政策等。 官公需適格組合契約拡大の支援。 |
| 建設業 | 総合 | 安全対策を充実することは良いことであるが、過剰な対策（交通量がほとんどない現場への交通整理員の配置、安全のためのランプや看板の過剰な装飾等）もある。最終的には建設コストの増加もあるのではないかと。行政側から見て不要な対策と考えられるものがあればアドバイスをいただくとありがたい。 |
| | 型枠工事 | 業界を挙げて人材確保に向けた取組をしている。中央会や行政庁の皆様へ、建設業の大切さや魅力を発信していただき、求職者・特に若年者向けの人材確保に向けたことを考えている。 |

月次景況調査 12月のDI（前年同月比）

| 項 目 | 全 体 | | | 製 造 業 | | | 非 製 造 業 | | |
|---------|--------|--------|------|--------|--------|-------|---------|--------|-------|
| | 12月 | 11月 | 前月比 | 12月 | 11月 | 前月比 | 12月 | 11月 | 前月比 |
| 景 況 | ▲ 14.0 | ▲ 30.0 | 16.0 | ▲ 11.5 | ▲ 34.6 | 23.1 | ▲ 16.7 | ▲ 25.0 | 8.3 |
| 売 上 高 | ▲ 4.0 | ▲ 14.0 | 10.0 | 0.0 | ▲ 23.1 | 23.1 | ▲ 8.3 | ▲ 4.2 | ▲ 4.1 |
| 収 益 状 況 | ▲ 24.0 | ▲ 36.0 | 12.0 | ▲ 23.1 | ▲ 38.5 | 15.4 | ▲ 25.0 | ▲ 33.3 | 8.3 |
| 販 売 価 格 | 4.0 | 0.0 | 4.0 | 3.8 | 0.0 | 3.8 | 4.2 | 0.0 | 4.2 |
| 取 引 条 件 | ▲ 16.0 | ▲ 18.0 | 2.0 | ▲ 19.2 | ▲ 15.4 | ▲ 3.8 | ▲ 12.5 | ▲ 20.8 | 8.3 |

中小企業月次景況調査(令和3年12月)DI値(前年同月比)

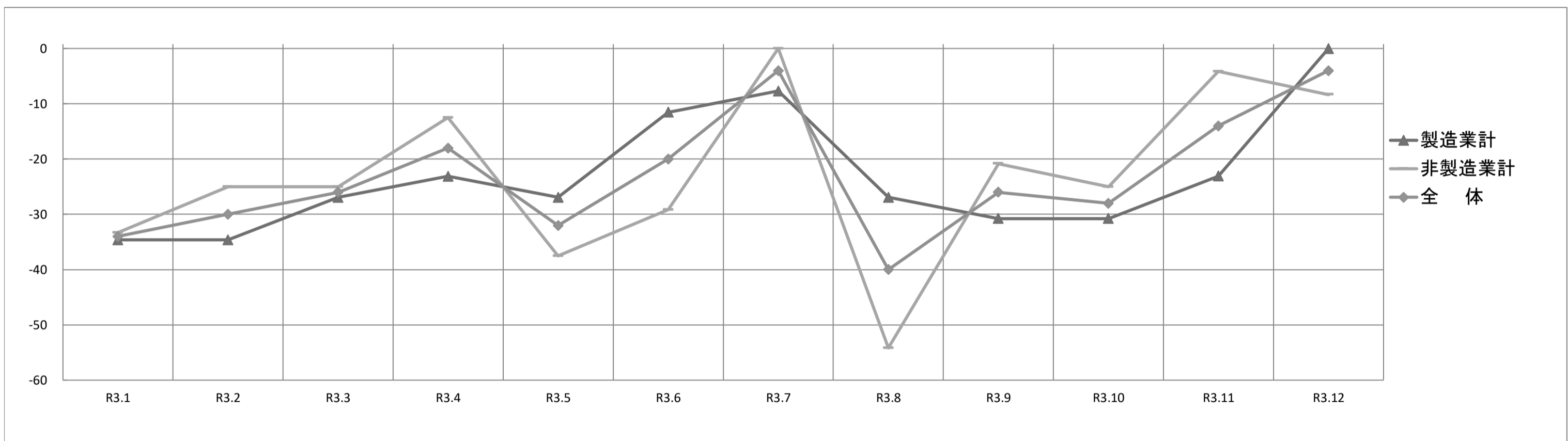
| | 売上高 | | | | 在庫数量 | | | | 販売価格 | | | | 取引条件 | | | | 収益状況 | | | | 資金繰り | | | | 設備操業度 | | | | 雇用人員 | | | | 業界の景況 | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------|---------|----|----|------|-------|--------|----|------|-----|-----|--------|------|----|-----|--------|---------|----|----|-----|--------|---------|----|----|-------|--------|--------|----|------|-----|-------|--------|-------|----|-----|--------|--------|----|-----|----|--------|---------|----|----|----|---|
| | DI | (内 訳) | | | | DI | (内 訳) | | | | DI | (内 訳) | | | | DI | (内 訳) | | | | DI | (内 訳) | | | | DI | (内 訳) | | | | DI | (内 訳) | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 増加 | 不変 | 減少 | 業界数 | | 増加 | 不変 | 減少 | 業界数 | | 上昇 | 不変 | 悪化 | 業界数 | | 好転 | 不変 | 悪化 | 業界数 | | 好転 | 不変 | 悪化 | 業界数 | | 好転 | 不変 | 悪化 | 業界数 | | 増加 | 不変 | 減少 | 業界数 | 好転 | 不変 | 悪化 | 業界数 | | | | | | | |
| 製造業 | 食料品 | △ 33.3 | 0 | 4 | 2 | 6 | 16.7 | 1 | 5 | 0 | 6 | 16.7 | 1 | 5 | 0 | 6 | △ 16.7 | 0 | 5 | 1 | 6 | △ 50.0 | 0 | 3 | 3 | 6 | △ 50.0 | 0 | 3 | 3 | 6 | △ 16.7 | 0 | 5 | 1 | 6 | △ 33.3 | 0 | 4 | 2 | 6 | △ 33.3 | 0 | 4 | 2 | 6 |
| | 繊維工業 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 66.7 | 0 | 1 | 2 | 3 | △ 66.7 | 0 | 1 | 2 | 3 | △ 66.7 | 0 | 1 | 2 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| | 木材・木製品 | 33.3 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 33.3 | 1 | 2 | 0 | 3 | 33.3 | 1 | 2 | 0 | 3 | 33.3 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 33.3 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| | 紙・紙加工品 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 印刷 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | △ 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | △ 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 化学・ゴム | △ 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | △ 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 窯業・土石製品 | 0.0 | 1 | 3 | 1 | 5 | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 20.0 | 1 | 4 | 0 | 5 | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0.0 | 1 | 3 | 1 | 5 | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 20.0 | 1 | 4 | 0 | 5 | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0.0 | 1 | 3 | 1 | 5 |
| | 鉄鋼・金属 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 一般機器 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 電気機器 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 輸送機器 | 0.0 | 1 | 1 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 66.7 | 0 | 1 | 2 | 3 | △ 66.7 | 0 | 1 | 2 | 3 | △ 66.7 | 0 | 1 | 2 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 製造業計 | 0.0 | 6 | 14 | 6 | 26 | 0.0 | 1 | 24 | 1 | 26 | 3.8 | 2 | 23 | 1 | 26 | △ 19.2 | 0 | 21 | 5 | 26 | △ 23.1 | 3 | 14 | 9 | 26 | △ 23.1 | 1 | 18 | 7 | 26 | △ 7.7 | 2 | 20 | 4 | 26 | △ 15.4 | 0 | 22 | 4 | 26 | △ 11.5 | 3 | 17 | 6 | 26 | |
| 非製造業 | 卸売業 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0.0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0.0 | 0 | 3 | 0 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | △ 33.3 | 0 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小売業 (商店街含む) | △ 16.7 | 2 | 6 | 4 | 12 | △ 8.3 | 0 | 11 | 1 | 12 | 8.3 | 3 | 7 | 2 | 12 | △ 25.0 | 1 | 7 | 4 | 12 | △ 33.3 | 1 | 6 | 5 | 12 | △ 33.3 | 0 | 8 | 4 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | サービス業 | 0.0 | 1 | 0 | 1 | 2 | | | | | | 0.0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0.0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0.0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0.0 | 0 | 2 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 建設業 | 0.0 | 1 | 3 | 1 | 5 | | | | | | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0.0 | 1 | 3 | 1 | 5 | 0.0 | 0 | 5 | 0 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 運輸業 | 50.0 | 1 | 1 | 0 | 2 | | | | | | 0.0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0.0 | 0 | 2 | 0 | 2 | △ 50.0 | 0 | 1 | 1 | 2 | △ 50.0 | 0 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非製造業計 | △ 8.3 | 5 | 12 | 7 | 24 | △ 13.3 | 0 | 13 | 2 | 15 | 4.2 | 4 | 17 | 3 | 24 | △ 12.5 | 1 | 19 | 4 | 24 | △ 25.0 | 3 | 12 | 9 | 24 | △ 25.0 | 0 | 18 | 6 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | △ 4.0 | 11 | 26 | 13 | 50 | △ 4.9 | 1 | 37 | 3 | 41 | 4.0 | 6 | 40 | 4 | 50 | △ 16.0 | 1 | 40 | 9 | 50 | △ 24.0 | 6 | 26 | 18 | 50 | △ 24.0 | 1 | 36 | 13 | 50 | △ 7.7 | 2 | 20 | 4 | 26 | △ 10.0 | 1 | 43 | 6 | 50 | △ 14.0 | 5 | 33 | 12 | 50 | |

D I 値推移表 (R3. 1月 ~ R3. 12月期)

《売上高の推移》

| 前年同月比 | R3. 1 | R3. 2 | R3. 3 | R3. 4 | R3. 5 | R3. 6 | R3. 7 | R3. 8 | R3. 9 | R3. 10 | R3. 11 | R3. 12 |
|---------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|
| 食料品製造業 | ▲ 83.3 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 50.0 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 33.3 |
| 製造業(食料品製造業以外) | ▲ 20.0 | ▲ 25.0 | ▲ 15.0 | ▲ 15.0 | ▲ 15.0 | 5.0 | 10.0 | ▲ 5.0 | ▲ 10.0 | ▲ 20.0 | ▲ 10.0 | 10.0 |
| 製造業計 | ▲ 34.6 | ▲ 34.6 | ▲ 26.9 | ▲ 23.1 | ▲ 26.9 | ▲ 11.5 | ▲ 7.7 | ▲ 26.9 | ▲ 30.8 | ▲ 30.8 | ▲ 23.1 | 0.0 |
| 卸売業 | ▲ 25.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | 100.0 | 33.3 | ▲ 66.7 | ▲ 33.3 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 |
| 小売業(商店街含む) | ▲ 36.4 | ▲ 36.4 | 9.1 | ▲ 16.7 | ▲ 58.3 | ▲ 41.7 | ▲ 8.3 | ▲ 66.7 | ▲ 25.0 | ▲ 33.3 | ▲ 16.7 | ▲ 16.7 |
| サービス業 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 50.0 | 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 100.0 | ▲ 50.0 | 0.0 |
| 建設業 | 0.0 | 20.0 | ▲ 40.0 | ▲ 40.0 | ▲ 20.0 | ▲ 20.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 0.0 |
| 運輸業 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 | 50.0 | ▲ 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 |
| 非製造業計 | ▲ 33.3 | ▲ 25.0 | ▲ 25.0 | ▲ 12.5 | ▲ 37.5 | ▲ 29.2 | 0.0 | ▲ 54.2 | ▲ 20.8 | ▲ 25.0 | ▲ 4.2 | ▲ 8.3 |
| 全体 | ▲ 34.0 | ▲ 30.0 | ▲ 26.0 | ▲ 18.0 | ▲ 32.0 | ▲ 20.0 | ▲ 4.0 | ▲ 40.0 | ▲ 26.0 | ▲ 28.0 | ▲ 14.0 | ▲ 4.0 |

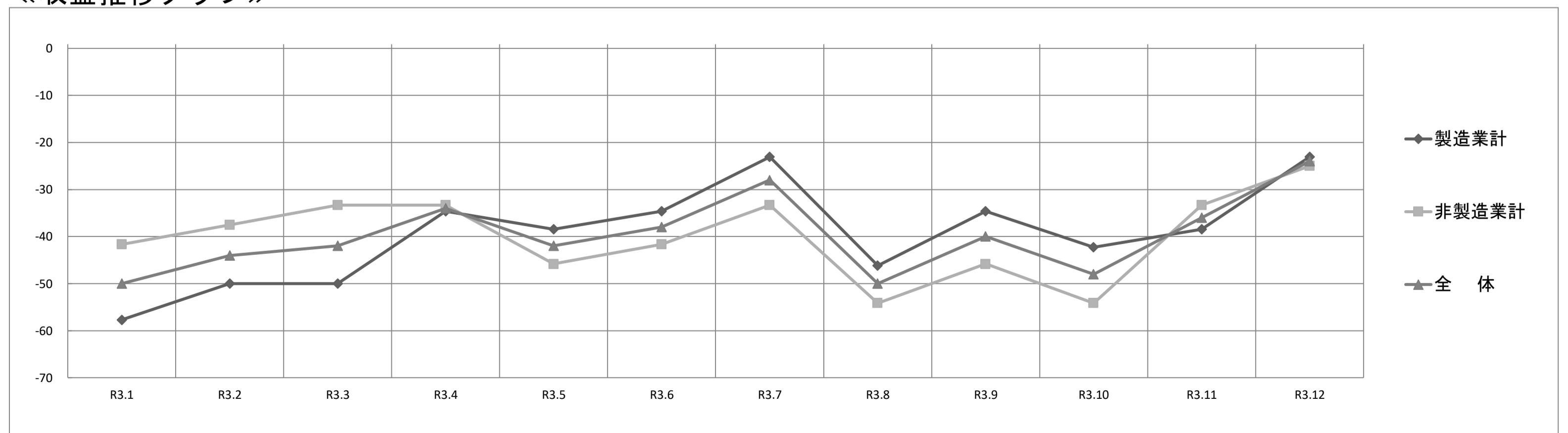
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

| 前年同月比 | R3. 1 | R3. 2 | R3. 3 | R3. 4 | R3. 5 | R3. 6 | R3. 7 | R3. 8 | R3. 9 | R3. 10 | R3. 11 | R3. 12 |
|---------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|
| 食料品製造業 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 50.0 |
| 製造業(食料品製造業以外) | ▲ 55.0 | ▲ 45.0 | ▲ 50.0 | ▲ 30.0 | ▲ 35.0 | ▲ 30.0 | ▲ 15.0 | ▲ 35.0 | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 | ▲ 25.0 | ▲ 15.0 |
| 製造業計 | ▲ 57.7 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 34.6 | ▲ 38.5 | ▲ 34.6 | ▲ 23.1 | ▲ 46.2 | ▲ 34.6 | ▲ 42.3 | ▲ 38.5 | ▲ 23.1 |
| 卸売業 | ▲ 25.0 | 25.0 | ▲ 25.0 | 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 66.7 | 0.0 | ▲ 100.0 | ▲ 66.7 | ▲ 100.0 | ▲ 66.7 | ▲ 33.3 |
| 小売業(商店街含む) | ▲ 63.6 | ▲ 63.6 | ▲ 36.4 | ▲ 41.7 | ▲ 58.3 | ▲ 41.7 | ▲ 58.3 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 50.0 | ▲ 33.3 |
| サービス業 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 |
| 建設業 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | ▲ 40.0 | ▲ 20.0 | ▲ 20.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 |
| 運輸業 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 |
| 非製造業計 | ▲ 41.7 | ▲ 37.5 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 45.8 | ▲ 41.7 | ▲ 33.3 | ▲ 54.2 | ▲ 45.8 | ▲ 54.2 | ▲ 33.3 | ▲ 25.0 |
| 全体 | ▲ 50.0 | ▲ 44.0 | ▲ 42.0 | ▲ 34.0 | ▲ 42.0 | ▲ 38.0 | ▲ 28.0 | ▲ 50.0 | ▲ 40.0 | ▲ 48.0 | ▲ 36.0 | ▲ 24.0 |

《収益推移グラフ》

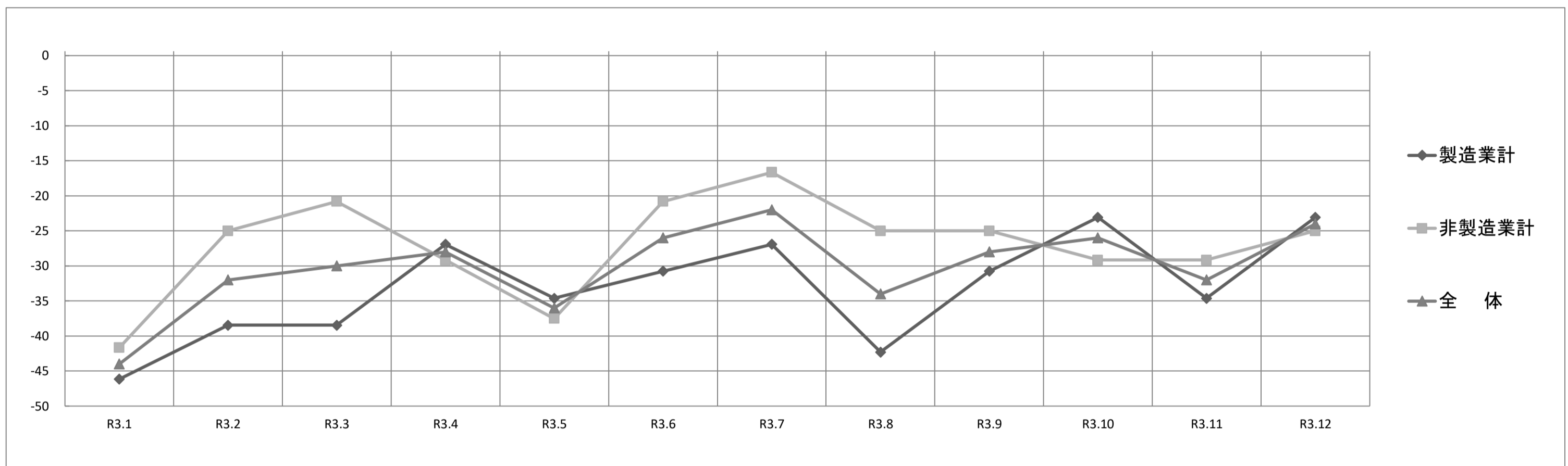


D I 値推移表 (R3.1月 ~ R3.12月期)

《資金繰りの推移》

| 前年同月比 | R3.1 | R3.2 | R3.3 | R3.4 | R3.5 | R3.6 | R3.7 | R3.8 | R3.9 | R3.10 | R3.11 | R3.12 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 食料品製造業 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 50.0 | ▲ 33.3 | ▲ 50.0 | ▲ 33.3 | ▲ 50.0 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 50.0 |
| 製造業(食料品製造業以外) | ▲ 40.0 | ▲ 30.0 | ▲ 35.0 | ▲ 25.0 | ▲ 30.0 | ▲ 30.0 | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 | ▲ 15.0 | ▲ 10.0 | ▲ 25.0 | ▲ 15.0 |
| 製造業計 | ▲ 46.2 | ▲ 38.5 | ▲ 38.5 | ▲ 26.9 | ▲ 34.6 | ▲ 30.8 | ▲ 26.9 | ▲ 42.3 | ▲ 30.8 | ▲ 23.1 | ▲ 34.6 | ▲ 23.1 |
| 卸売業 | ▲ 25.0 | 25.0 | ▲ 25.0 | 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | 0.0 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 |
| 小売業(商店街含む) | ▲ 63.6 | ▲ 45.5 | ▲ 18.2 | ▲ 41.7 | ▲ 58.3 | ▲ 25.0 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 |
| サービス業 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 |
| 建設業 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | ▲ 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 運輸業 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 |
| 非製造業計 | ▲ 41.7 | ▲ 25.0 | ▲ 20.8 | ▲ 29.2 | ▲ 37.5 | ▲ 20.8 | ▲ 16.7 | ▲ 25.0 | ▲ 25.0 | ▲ 29.2 | ▲ 29.2 | ▲ 25.0 |
| 全体 | ▲ 44.0 | ▲ 32.0 | ▲ 30.0 | ▲ 28.0 | ▲ 36.0 | ▲ 26.0 | ▲ 22.0 | ▲ 34.0 | ▲ 28.0 | ▲ 26.0 | ▲ 32.0 | ▲ 24.0 |

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

| 前年同月比 | R3.1 | R3.2 | R3.3 | R3.4 | R3.5 | R3.6 | R3.7 | R3.8 | R3.9 | R3.10 | R3.11 | R3.12 |
|---------------|---------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 食料品製造業 | ▲ 66.7 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 66.7 | ▲ 66.7 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 83.3 | ▲ 33.3 |
| 製造業(食料品製造業以外) | ▲ 55.0 | ▲ 35.0 | ▲ 30.0 | ▲ 30.0 | ▲ 40.0 | ▲ 30.0 | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 | ▲ 15.0 | ▲ 15.0 | ▲ 20.0 | ▲ 5.0 |
| 製造業計 | ▲ 57.7 | ▲ 38.5 | ▲ 34.6 | ▲ 34.6 | ▲ 42.3 | ▲ 38.5 | ▲ 30.8 | ▲ 42.3 | ▲ 30.8 | ▲ 30.8 | ▲ 34.6 | ▲ 11.5 |
| 卸売業 | ▲ 50.0 | 50.0 | ▲ 25.0 | 0.0 | ▲ 33.3 | ▲ 100.0 | ▲ 66.7 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 66.7 | ▲ 33.3 | ▲ 66.7 |
| 小売業(商店街含む) | ▲ 54.5 | ▲ 45.5 | ▲ 18.2 | ▲ 25.0 | ▲ 41.7 | ▲ 41.7 | ▲ 41.7 | ▲ 50.0 | ▲ 58.3 | ▲ 41.7 | ▲ 41.7 | ▲ 16.7 |
| サービス業 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 建設業 | 0.0 | 0.0 | ▲ 40.0 | ▲ 40.0 | 0.0 | 0.0 | ▲ 20.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 |
| 運輸業 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 100.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 | ▲ 50.0 |
| 非製造業計 | ▲ 45.8 | ▲ 25.0 | ▲ 33.3 | ▲ 29.2 | ▲ 33.3 | ▲ 41.7 | ▲ 37.5 | ▲ 45.8 | ▲ 45.8 | ▲ 29.2 | ▲ 25.0 | ▲ 16.7 |
| 全体 | ▲ 52.0 | ▲ 32.0 | ▲ 34.0 | ▲ 32.0 | ▲ 38.0 | ▲ 40.0 | ▲ 34.0 | ▲ 44.0 | ▲ 38.0 | ▲ 30.0 | ▲ 30.0 | ▲ 14.0 |

《景況推移グラフ》

